

検討事項

- 都市アイデンティティの確立に資する郷土教育の進め方
- 学校教育現場と博物館を中心とした生涯学習施設の連携事業

現状

○市民の認知度の現状

都市アイデンティティ基礎調査より	千葉氏	加曽利貝塚	オオガハス	幕張メッセ・参考
好意度(好印象をもてる)	53.1%(15位)	62.0%(11位)	69.5%(5位)	83.5%(1位)
資源への来訪意向(市内⇒資源)	59.9%(14位)	67.9%(9位)	75.0%(4位)	83.9%(1位)
本市への来訪意向(市外⇒本市)	37.1%(14位)	42.8%(10位)	50.1%(7位)	65.7%(1位)

※市内の15資源それぞれについて、好意度や来訪意向等をWEBアンケートで調査した。対象は関東在住の18～69歳の男女個人。

課題1 千葉氏、加曽利貝塚の認知度(好意・来訪意向)を高める必要がある。

○学校教育の現状

- ・教材(小学校社会科副読本「わたしたちの千葉市」、中学校社会科副読本「のびゆく千葉市」、指導用補助教材「小学校社会科指導資料集」)を活用し、郷土教育を行っているが、十分な時間がとれていない。
→ 小学校6年生及び中学校1年生での歴史学習でそれぞれ2時間程度の実施
- ・郷土教育の取組は学校の判断に任せられており、状況は異なるが、博物館の周辺の学校は、校外学習等で施設を活用している。

課題2 学校での郷土教育を充実させるとともに、教員の「千葉氏」等の認知度を向上させる必要がある。

○郷土教育の拠点としての博物館の現状

博物館名	平成26年度	平成25年度	平成24年度
郷土博物館	37,018人	30,169人	40,644人
加曽利貝塚博物館	9,975人※	16,400人	17,838人
科学館・参考	352,373人	379,012人	406,205人

※施設修繕により、平成26年8月1日から平成27年3月31日まで休館

- ・「千葉氏」に関する展示 常設展示(郷土博物館)・出張展示(中央図書館他)
- ・「加曽利貝塚」に関する展示 常設展示(加曽利貝塚博物館)・出張展示(生涯学習センター他)

課題3 博物館は「千葉氏」や「加曽利貝塚」の学習には効果的であるため、来館者を増やす必要がある。

○情報発信や講座・イベントの現状

- ・「千葉氏」に関する講座の実施(公民館他)
- ・「加曽利貝塚」に関する講座の実施(生涯学習センター他)
- ・「ちばまなびの森」や「教育だよりちば」への記事掲載開始

課題4 現在の講座は専門的な内容で関心がある人しか受講しないため、わかりやすい講座を実施する必要がある。

今後の方向性

課題に対する方向性

○方向性1 「千葉氏」「加曽利貝塚」等の魅力の掘り起し・魅力向上

- ①市内外へ訴求するストーリーの作成(戦略プラン) ⇒ ルーツとしての関係性の確認
- ②加曽利貝塚の特別史跡化の推進 ⇒ 加曽利貝塚の魅力を市内外へアピール

○方向性2 学校教育における郷土教育の充実

- ①小学校中学年からのマンガ「千葉氏」の活用・保護者への啓発
- ②社会科や総合的な学習の時間等の授業時数確保の検討
- ③校外学習や出前授業での博物館等の活用促進
- ④教員への郷土教育推進に係る研修の実施
- ⑤教員向け指導事例の活用促進

○方向性3 郷土教育の拠点としての博物館の充実及び利用促進

- ①博物館のあり方の検討と展示内容の充実
郷土博物館:「千葉氏」を核とした、郷土の成り立ちがわかる博物館
加曽利貝塚博物館:貝塚文化を全国に向けて発信する博物館
- ②親子で楽しめる体験型の企画の充実
- ③小中学校の授業や校外学習における博物館利用の促進
- ④コラボ企画の強化(観光協会や千葉都市モノレール等関係機関との連携の強化)

○方向性4 市民の目にとまる情報発信や講座・イベントの拡充

- ①周年事業としての講座・イベントの企画 (H28年度:千葉開府890年、加曽利貝塚博物館開館50年)
- ②図書館や各種集客イベントでの展示による周知
- ③魅力ある講座・イベントの実施とマスコミへのPRの推進
- ④広報紙への記事掲載やホームページ・SNSでの情報発信拡充

主な実績

○方向性1 「千葉氏」「加曾利貝塚」等の魅力の掘り起し・魅力向上

- ・千葉氏サミット(H28年8月21日親子三代夏祭りと同じ)開催に向けた企画を検討(首長フォーラム、物産販売等)
- ・千葉開府890年記念プロモーションを実施予定(H28年1~12月)(ポスター、ラッピングモノレール等)
- ・千葉開府900年となる2026年を目標年次とする「都市アイデンティティ戦略プラン」を策定中(3月策定予定)
- ・加曾利貝塚特別史跡指定申請に向けて総括報告書(H28刊行予定)及び史跡の保存活用計画書(H28刊行予定)を作成中
- ・かそり一ぬによる加曾利貝塚のPR活動(レッドブルエアレース2015(5/16,17)、エコメッセ2015inちば(9/23)、JFEまつり(10/25)他)

○方向性2 学校教育における郷土教育の充実

- ・マンガ「千葉氏の活躍」は3月完成、4月に市内小学校へ配布予定
- ・社会科の指導時数確保や総合的な学習の時間における「千葉氏」を教材とした指導事例の作成についてH28年1月の校長会で周知し、H28年度から実施予定
- ・教員への郷土教育推進に係る研修を年間2回実施(1回目は前期に実施済み、2回目は4区完了、2区は1月に実施予定)
- ・社会科指導に係る教員向け指導事例を作成、配付

○方向性3 郷土教育の拠点としての博物館の充実及び利用促進

①郷土博物館

- ・特別展「資料にみる千葉氏—史実と伝承—」の開催(H27年11月17日~H28年2月21日)
- ・市内小中学校への館内解説講座・体験学習・出前授業を22回実施

②加曾利貝塚博物館

- ・企画展「縄文土器の技と美—戸村正己が追及する縄文の心—」の開催(8月1日~9月27日)
- ・土器ドキ発掘体験(夏休み中、延べ19回)、ナイトミュージアム(10月24日)、縄文ムラ祭り(11月7,8日)の実施
- ・4月からの入館者数が2万人を超える(12月9日現在20,753人)

○方向性4 市民の目にとまる情報発信や講座・イベントの拡充

- ・中央区ふるさとまつり(10月18日開催)で、かそり一ぬによるPR、千葉氏パネル展、甲冑の試着体験、組紐作りの実施
- ・中央図書館と文化財課の共同展示「千葉市の礎を築いた一族 頼朝に父と呼ばれた男 千葉常胤」の実施(10月25日~12月16日)
- ・広報紙「教育だよりちば(100号)」記念として「千葉氏」「加曾利貝塚」の特集記事を掲載済み

実績例



← 土器ドキ発掘体験

ナイトミュージアム
(イメージ) →



縄文ムラ祭り →

- (上段左から)
- ・火起こし
- ・縄文土器による煮炊き
- ・縄文服試着



- (下段左から)
- ・竪穴住居内
- ・土偶マグネット
- ・イボキサゴスープ



イメージ

郷土への理解・愛情・誇り = アイデンティティの醸成

メインターゲットは、**親と子。**

- 方向性1 魅力の掘り起し・向上
- 方向性2 学校教育での展開
- 方向性3 博物館の充実及び利用促進
- 方向性4 情報発信、講座・イベントの拡充

教育委員会との連携
を図れるような施策メ
ニュー作り

学校任せとなるのでは
なく、市内で一体感を
もった推進体制をとる。

都市アイデンティティ戦略プラン

平成28年度から新たな推進計画

戦略プラン

郷土教育の充実

本市らしさを形成する地域資源として抽出した「千葉氏」「加曾利貝塚」「オオガハス」「海辺」を、目標年次を千葉開府900年となる平成38年までとする中長期的な時間軸に織り込んだ推進計画

郷土に誇りと愛着がもてるよう、本市の文化や歴史、伝統についての郷土教育の推進と充実を図る。

郷土に対する理解と愛着を深めるため、地域の歴史や文化資源を生かした学習機会を提供する。

第2次千葉市学校教育推進計画より
第5次千葉市生涯学習推進計画より